

全国 飲料水管理協会県支部総会

再選 玉利支部長

研修等で技術向上

全国建築物飲料水管理協会県支部（玉利賢介支部長）は11日、鹿児島市の城山観光ホテルで15年度通常総会を開き、貯水槽水道衛生管理士の講習会や従事者研修等の開催等を盛り込んだ新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では玉利支部長の続投を承認した。



玉利支部長の続投を決定した総会
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

総会の冒頭、玉利支部長は「昨年はレジオネラ菌で振り回された1年であったが、従事者研修や各種講習会などを実施して技術の向上を図ってきたい」と挨拶。続いて、本部の田崎一幸専務理事が「協会の更なる飛躍発展をお願いしたい」と言葉を寄せた後、議長に斎藤勇氏（アキラ・クリン）を選出し、議事に入った。

議案審議では、14年度事業報告並びに収支決算、15年度事業計画案並びに収支予算案を審議し、全て執行部原案通りに可決承認。また、任期満了に伴う役員改選では、投票後の互選によって玉利支部長の続投が決めた。

新年度事業計画は、①貯水槽水道衛生管理士の講習会の実施②各関係当



関係法令等を解説した研修会
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

局へ会員優先指名のお願
い②各市町村への陳情③
各関係機関への標準積算
資料の周知④従事者研修
の開催⑤各官庁及び関係
部署に新従事者研修会テ
キストの配布⑦優良従業
員表彰の推進など。

新役員は次の通り。
支部長＝玉利賢介（株）
ナセン）▽理事＝中村

飲料水の衛生など説明

貯水槽清掃作業従事者研修会

全国建築物飲料水管理協会県支部（玉利賢介支部長）は11日、鹿児島市の城山観光ホテルで、

「第21回貯水槽清掃作業従事者研修会」を開き、県内各地から会員ら約400人が参加して、関係法令や貯水槽清掃方法等について学んだ。

東洋建設の増資引受け

連結子会社に組入れ

前田建設工業

前田建設工業（前田靖治社長）は、東洋建設（谷田部稜社長）との業務提携を一層強化するため、今年10月に、東洋建設が発行する新株式（第三割増資）を引き受けることにも、上席役員を東洋建設に派遣することを決めた。これにより前田建設工業は、東洋建設の22・17%を保有する筆頭株主となり、同社を連結子会社に組み入れる。

両社は昨年7月にも業務提携を結んでいるが、前田建設工業では、国内外の海上工事に実績のある東洋建設との強固な提携を構築することで①環境エン지니어リング業務の集約による効率化と機能の強化②民間建築事業での共同受注・施工協力などのさらなる推進による受

注・利益の創出③協力会社・資機材の相互利用と共同購買によるコスト削減④海外での営業・施工の相互支援による海外事業領域の拡大を推進していく方針だ。

考にして災害の原因や対策を職場ごとに究明、実施してほしいと要請した。また今年度のスローガン「危険をみつめて進める改善 高めよう職場の安全管理」を軸に安全に対する重要項目として①安全衛生管理体制の確立②災害衛生教育③災害再発防止対策の取り組み④整理整頓と活動一を挙げ、効果的な取り組みの必要性を訴えた。そのほか三大災害や熱中症問題に対する防止対策についての講義やビデオ鑑賞もあり、出席者らは安全に対する

警の絶滅と交通事故の防止

安全に先立ち挨拶する津田和支部長

＝加治木町の始良郡建設会館で

青年部会始良支部総会

奉仕作業など決める

冒頭、津田和支部長は「先輩諸氏のご期待に応えるためにも、同世代の仲間として絆を深めていきたい」と挨拶し、木山裕樹建設業協会副会長から寄せられたメッセージを代読した。

続いて卒会者の鶴丸一郎氏（鶴丸建設社長）へ記念品が贈られ、鶴丸氏は「青年部に入会して

名瀬市の奄美建設会館で11日、安全週間説明会があり、出席者らは職場の安全管理等について学んだ。これは7月1日から始まる全国安全週間を前に安全意識を高めようと毎年開いているもので、午前中は一般、午後からは建設業者を対象に行われた。

労使一体で安全管理を

名瀬市で安全週間説明会

労使一体となった取り組みを訴えた説明会
＝名瀬市の奄美建設会館で

冒頭、名瀬労働基準監督署の夏迫昭人署長が建設業者らに安全意識を高めようと呼びかけ、同署の太良木則孝厚生労働技官が建設業者らに安全に対する

全構協 創立30周年記念式典

本県では相良氏に感謝状

式典・祝賀会を開いた。式典では、橋本会長が「厳しい状況だからこそ、団結して打開の道を探っていくことが必要だ。30周年を機に、お互いの気持ちを確固として、新たな活動を展開していく」と呼びかけた。

また式典では、30周年を記念し協会の発展に功績があった学識経験者、団体正会員関係者計67人に感謝状を送った。本県では、団体正会員関係者で相良達之氏（相良製作所）が表彰された。